

令和 6 年 1 月 25 日

報道機関各位

北見工業大学
地域と歩む防災研究センター

博士論文公開発表会のご案内

このたび、北見工業大学地域と歩む防災研究センター（SAFER）が包括連携協定を締結しております。札幌市建設局から本学大学院博士後期課程に在学している曾我部幸平さんの研究がまとまり、博士論文の公開発表会を開催することとなりました。

2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震では、北海道で初めて震度階級で最も高い震度 7 を観測するとともに、札幌市内においても東区で観測史上最大となる震度 6 弱を記録しました。この地震によって、2 m を超える地盤の沈下や家屋の傾斜など甚大な被害が発生した清田区里塚地区をはじめ、札幌市の南東に位置する清田区や豊平区において、道路等の公共施設や宅地の被害が数多く発生しました。

この中で、被害の大きかった地区の一つであった豊平区月寒東地区では、液状化被害や液状化に伴う滑動崩落、切盛境界部の不同沈下被害などへの対策が必要になりました。

曾我部さんは札幌市建設局市街地復旧推進室の一員として、地盤工学的な調査に基づいて被災メカニズムを推定し、支笏火砕流堆積物地盤である当地域に対する地下水位低下工法の有用性について検討しました。その上で、水位低下に関する管理手法についても検討し、対策工として実際に適用しました。一方、不同沈下被害への対策としては、ハニカム構造の立体補強材であるジオセルに着目し、これを用いた新たな段差抑制対策工を開発し、その有効性や適用性について実大実験を用いて検証し、必要段数等の仕様、定着長、密度などの設計条件についても検討・確立し、対策工として実際に適用しました。

地震から 5 年以上が経ちましたが、本公開説明会では、一連の被害やその対策工に関する検討内容についてわかりやすくご紹介します。建設業界、特に自治体職員の仕事を理解する良い機会ですので、広く一般の方々の参加を歓迎いたします。

日 時：2024 年 1 月 31 日（水）13：00～14：30

場 所：北見工業大学 多目的講義室（3 号館 2 階）

同時に Zoom による web 配信も行います。

※web 参加をご希望の方には、後日、Zoom の URL をご案内いたしますので、以下のフォームから必要事項をご記入の上、送信してください。

<https://forms.gle/4Kybfjxx6TyoiCV19>



地下水位低下工法の様子



段差抑制工法に関する実大実験

<お問い合わせ先>

(研究内容について)

北見工業大学 地域と歩む防災研究センター

川口 貴之 (かわぐち たかゆき)

TEL: 0157-26-9475 E-mail: kawa@mail.kitami-it.ac.jp

(報道について)

北見工業大学 企画総務課広報戦略係

TEL: 0157-26-9116 E-mail: soumu05@desk.kitami-it.ac.jp